

医療・福祉特別講演会 「医療を中心に 街づくりを考える」



越智 貴子 × 中尾 一和 × 田島 文博 × 南條 輝志男 × 横田 滋 × 高良 健

おち・たかこ 群馬大学グローバルユニ
シアチブセンター准教授
なかお・かずわ 京都大学名誉教授
たじま・ふみひろ ちゅうざん病院院長
なんじょう・きしお 和歌山ろうさい病院院長
よこた・しげる 大道中央病院顧問
たから・たけし 医療法人陽心会理事長



高良 健 氏

「自宅の病床化」と
新たな医療生活産業

講演会では琉球新報社の松元剛専務による主催者あいさつ、知念寛那覇市長、外間浩那覇市立病院理事長兼院長による来賓あいさつに続き、医療法人陽心会の高良健理事長が登壇しました。

高良氏は、1988年の大道中央病院開設当時の地域との関わりを示したチャート図を披露し「自宅に病院の機能を持ち込み、いざという時には急性期治療を、そして慢性期治療でリハビリテーションを行い、デイケアでつなぎながら自宅に戻るというシステムを構築しています。この時期から、自宅の病床化」を目指していたことが分かると思います」と説明。続いて2000年、07年、09年、18年と変遷を続けたチャート図を示しながら「時代とともに施設が増え、地域とのつながりやシステムをアップデートしながらも、自宅の病床化を核とするコンセプトは変わりません」と法人の概要を紹介しました。



横田 滋 氏

介しました。また労働効率を上げるためには、若者が高齢者の世話をするのではなく、高齢者同士でお世話をし合い、それを若者がサポートするような街づくりをしないと力説。「皆さまの力を借りながらさらに前に進んでいきたい」と締めました。

続いて、大道中央病院顧問で莞（かん）医療介護経営研究所の横田滋所長が登壇。2010年から約4年にわたり陽心会が取り組んだ「地域の中老年の若返りと街の活性化プロジェクト」について説明しました。このプロジェクトでは、栄町市場商店街を核に地元の中老年の健康づくりと街の活性化を図ろうと、大道中央病院スタッフの専門知識を活用しつつ、商店街における買い物支援や栄養処方、運動処方などのさまざまな事業を行いました。

和歌山ろうさい病院の南條輝志男院長は、大学3回生から13年にわたり母校の和歌山大学教育学部附属中学校バスケットボール部コーチを務めたことで「逆境を活用する」「発想の転換」と、互いの個性を尊重しながら協調する『和而不同』の精神を学んだ」ことを紹介しました。



南條 輝志男 氏

医療におけるチームづくりと
最善のリハビリテーション

づくりや病気の予防・管理までさまざまなサービスを事業化することで、医療・介護保険に頼らない「医療生活産業」という新しい概念だった」と表現しました。



田島 文博 氏

和而不同の精神で共通の目標を掲げ、目標に対して全員が参加すること」を挙げました。

ちゅうざん病院の田島文博院長は、自身が和歌山県立医科大学の教授だった頃の事例を中心に披露。食道がんを発症した寝たきりの高齢者を手術が受けられる体の状態に持つていくために、10日間で行うにか自分で歩けるまでにリハビリテーション治療した経緯を説明しました。翌日には無事に手術に臨むことができ「結果的に、がんも寝たきりも両方克服することができた」と治療時の動画を交えて紹介しました。

「患者にとって安静は麻薬のようなもの。気持ちいいが確実に活動性を低下させる。医師がきちんと診断して熟練の療法士が治療を行えば、最良のリハビリテーション医療となる」と、その重要性を強調しました。

医療をからめた地域の
街づくり



中尾 一和 氏

今年2月に開催された琉球新報社主催の医療講演会でも講師を務めた京都大学の中尾一和名誉教授は、その時に話した地域の取り組みを中心に掘り下げて報告しました。出身地である兵庫県養父（やぶ）市は、本来「名医」の意である「やぶ医者」発祥の地として「やぶ医者プロジェクト」を実施しており、地域医療に貢献している全国の若手医師を毎年2人表彰しているとの紹介。今年は宮古島の医師が推薦されたものの、最終候補からは漏れたことを報告しました。

また養父市は昨年12月、中尾氏が所長を務める「医療文化経済グローバル研究所」を設立し、医療、文化芸術、経済社会の3部門が連携しながら、医学的処方と社会的処方を通して認知症と共生する街づくりに取り組んでいることを紹介。「教育活動や市民講座などすべての文化活動を合わせ、もつとも認知症患者の少ない街にしていきたい」と所長としての抱負を述べました。



越智 貴子 氏

最後に登壇した群馬大学グローバルユニシアチブセンターの越智貴子准教授は、群馬県富岡市が外国人に選ばれる街になるために、学生らと取り組んだプロジェクトについて紹介しました。富岡市は、15〜64歳までの外国人人数が10年弱でほぼ2倍に増加。そこで越智氏は学生や富岡市と連携して教育・医療・IT／インフラ・防災・農業の5分野から「外国人が住やすい街づくり」を検討しました。

ポストコロナの時代だからこそ、インクルーシブな街づくりが求められているとして「今後はハラルやベジタリアンに対応したヘルシーフードを宅配するアプリ開発や、自然散策や地域の医療機関と連携した医療ツーリズムの推進について学生らとともに取り組んでいく」と力強く展望を語りました。最後は琉球新報社統合広告事業局の島洋子局長が閉会の辞を述べ、会場からあらためて講師6人に大きな拍手が送られて閉会しました。



医療法人 陽心会グループ

医療法人 **陽心会** 社会福祉法人 **陽風会** 有限会社 **ヘルスサポート**

理事長 **高良 健**

大道中央病院 那覇市安里1-1-37 TEL.098-866-0005(代) リハビリテーション部門 TEL.098-869-0050 メディカルプラザ大道中央病院 那覇市大道127 TEL.098-886-0007 メディカルプラザ大道中央 那覇市学大道123 TEL.098-886-0007(代) 一般内科部門 TEL.098-886-0115 循環器科部門 TEL.098-886-5141 糖尿病科部門 TEL.098-886-0115 人工透析部門 TEL.098-886-5151 健診部門 TEL.098-886-0078 介護老人保健施設 やすらぎの里 那覇市安里3-1-57 TEL.098-869-0030 有料老人ホーム 星の館 那覇市安里1-1-17 TEL.098-917-1262	グループホーム たかまーみの家 那覇市学大道94-3 TEL.098-887-0081 グループホーム 大蔵が丘 那覇市学大道94-3 TEL.098-885-0036 小規模多機能型ホーム 大道 那覇市学大道94-3 TEL.098-885-0018 地域交流センター 大道 那覇市学大道94-3 2F TEL.098-885-0018 那覇市地域包括支援センター 若狭 那覇市若狭2-1-10 TEL.098-863-1165 ケアハウス 常夏の島 那覇市牧志3-8-10 TEL.098-951-0036 特別養護老人ホーム 前島 那覇市前島2-18-17 TEL.098-894-8039 那覇市末吉老人福祉センター 那覇市首里末吉町2-14 TEL.098-886-3510	那覇市瀬川老人福祉センター 那覇市瀬川2-3-11 TEL.098-853-1139 那覇市松川2-0番5 那覇市松川20-1 TEL.098-885-0300 デイサービスセンター 松川 那覇市学大道127 TEL.098-886-0066 デイサービスセンター 大道 那覇市学大道127 TEL.098-886-0066 デイサービスセンター こすもす 那覇市松川2-0番5 TEL.098-975-5273 グループホーム 健康の家 那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0551 小規模多機能型ホーム 若狭 那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550 地域交流センター 若狭 那覇市若狭3-4-10 TEL.098-951-0550 那覇市地域包括支援センター かなぐすく 那覇市読原町1番6号 1F TEL.098-852-0777	在宅総合ケアセンター 大道 那覇市安里381-1 TEL.098-885-0030 在宅総合ケアセンター 大道／訪問介護事業所 那覇市学大道128 TEL.098-885-0033 有料老人ホーム 牧志 那覇市牧志2-9-43 TEL.098-862-1331 有料老人ホーム 8555 那覇市安里3-1-47 5F-6F TEL.098-923-5707 デイサービスセンター リバーサイド 那覇市安里1-1-18 3F TEL.098-862-1501 2F TEL.098-943-2016 居宅介護支援事業所 なまくま 那覇市泊2-25-2 TEL.098-943-5565 介護用品 那覇市学大道116 TEL.098-917-0916
---	--	---	---